

平成27年10月1日

一般社団法人 日本外食品流通協会

TEL 03-5296-7723

第66回外食産業フェア（大阪）盛会裏に閉幕、「くまモン」が登場

外食協は、標記フェアを平成27年9月9日から同10日までの2日間、インテックス大阪3号館で開催した。初日の9時30分から開会式が行われ、主催者代表挨拶を尾家亮会長、来賓祝辞を大豆生田清志農林水産省食料産業局食品製造卸売課食品産業調査官、出展社代表祝辞を味の素(株)前川信介大阪支店長、開会宣言を大月年春近畿支部長がそれぞれ行った。テープカットも以上の4氏により行われた。今年のテーマは「今、気になるFood! 食の祭典（月に一度は家族で外食を）」、また、内容的には、今年も東日本大震災被災地支援のため「食べて応援しよう! - (東北コーナー)」が3小間設けられた。更に、今年には熊本県PRコーナーが設けられ、そこには熊本県キャラクターの「くまモン」が登場し、会場を盛り上げた。初企画とし有名講師による特別セミナーを連日2回開催した。出展社数は81社（前年75社）、出展小間数は165小間（前年161小間）、2日間の入場者数は5,176人（前年は3日間開催6,784人）であった。お店の繁盛につながるフェアとして来場者に評価され閉幕した。

農林水産省補助事業による「マネジメント体制構築研修会」の地域別開催計画

農林水産省では、「食のリスクをチャンスに変える」と銘打って標記研修会を全国6地域で開催します。内容は、「食品安全マネジメント徹底事例」、「ハラルビジネスの現状とは」、「食品表示法への対応事例」、「WEB“炎上”させない事故対応」となっており、主要対象者は食品事業者の経営者及び管理職層。このことについては、外食協から郵送にて正会員及び賛助会員の皆様にチラシを送付致します。

農林水産省の組織体制再編、当協会の担当窓口は「食品流通課」に

農林水産省は、10月以降の組織体制を再編することをホームページで公表しているが、当協会関係では「食品小売サービス課」と「食品製造卸売課」を「食品流通課」と「食品製造課」に再編し、主に「食品流通課」が主務課となる。「食品流通課」には課内室として「卸売市場室」と「商品取引室」が併設される。詳しくは、農林水産省ホームページを参照下さい。

マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)の実施に向けて

この制度は、複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるという事実の確認を行うための基盤であり、社会保障・税制との効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤（インフラ）であると内閣府は述べている。マイナンバー制度の概要資料については郵送にて外食協から正会員・賛助会員に送付いたしますが、この制度の施行は10月5日から「個人番号」と「法人番号」の2種があり、「法人番号」については、来年の1月までにそれぞれの事業者が社内的な規定を定める事務手続きを行う必要があります。いずれにしても今後外食協から情報の提供を行います。なお、近畿支部では、これをテーマとした講演会を10月21日に開催します。

[支部だより]

第26回NAGOYAフードビジネスショー(名古屋) 来場者前年を上回り盛会裏に終了

標記フェアは、平成27年9月1～2日の2日間、名古屋市中小企業振興会館・吹上ホールで開催された。初日の9時40分から開会式が行われ、主催者代表挨拶を外食協・金森武東海・北陸支部長及び共同開催の東海3県調理師会を代表し愛知県調理師会磯村義安会長、来賓祝辞を大澤慶幸農林水産省東海農政局経営・事業支援部長、出展社代表祝辞を味の素(株)島本達也名古屋支社長がそれぞれ行った。テープカットは以上の方々のほか名古屋商工会議所田口一規氏、椋田高義外食協・専務理事で行われた。今年度も東海3県調理師大会との合同展として開催、特設会場では料理コンクールを実施し入賞者の表彰を行った。また、今回も、日本料理、西洋料理、中国料理の調理師会会員が自慢の腕を振るったスペシャルメニューをワンコイン(500円)で提供する「ワンコイングルメ」も来場者に好評であった。更に、今年度も高知県から水産物等の地域特産物の出展とともに来場者へのこれの試食も好評であった。出展社数は93社（前年と同じ）、出展小間数108小間（前年103小間）、2日間の来場者数は4,575人（前年4,286人）で前年を大幅に上回り盛会裏に終えた。